

患者図書室 「やすらぎ文庫」だより

No.32

平成 31 年 2 月

じぶんカルテ。

お医者さんに言われたこと、診察で質問したいこと、薬のこと…記録しておけばよかったなあ、と思ったことはありませんか。(病気の時は、なかなか難しいかもしれませんが)当図書室には、治療のことを記録したいときに参考にできる本や小冊子を置いています。(題名にはがんとありますが、がん以外の病気の方にも参考にさせていただける内容です。)

「最良の医療を受けるための コミュニケーション法」

(監修：上野直人)

お持ち帰りいただける小冊子です。ノートではありませんが、情報整理の参考に。

「がんと向き合う安心便利ノート」

(名著出版／編著：中村直行・橋口さおり)

このノートを作ったのはお医者さんで、家族の病気や日々の診療の体験の中で必要と感じて作られたそうです。「患者さんやご家族の視点をだいに作り上げたつもりです(はしがきより引用)」

「患者必携がんになったら手にとるガイド

別冊『わたしの療養手帳』

(学研／編著：国立がん研究センターがん対策情報センター)

入院の記録、療養生活の記録、治療ダイアリーなどで構成されています。治療そのもの以外にも着目した「自分が大切にしたいことを考える」といった記録項目も載っています。



「3分診療時代の長生きできる受診のコツ45」

おすすめ

世界文化社／著：高橋宏和

「薬好きか薬嫌いか、処方の前に伝えてしまう。」など、今日の診察を有意義なものにするためのコツが詰まっています。患者さんと医療者とが歩み寄るための落としどころが、ユーモアを交えて書かれている1冊です。



お子さま向けの本、あります。



インターネットで医療情報を
無料で検索できます。



君津中央病院 患者図書室 「やすらぎ文庫」

外来2階

地域連携室の隣

月～金

9：00～12：00

13：00～16：00

(土日・祝日・振替日
年末年始はお休みです)

